

学 報

第447号

平成20年5月号

平成20年6月15日

東京芸術大学

(事務局総務課発行)

目 次

諸 報

- ・藝大素述座談会(「垣根のうちそと」-POST藝大はみえるか)の開催について 3
- ・「工藝考」展 見学ツアーの開催について 4
- ・ハーブ寄贈感謝状贈呈式の実施について 4
- ・外国人留学生懇談会の実施について 5
- ・日枝神社天井画制作の完了について 5
- ・第54回四芸術大学体育・文化交歓会の実施について 6
- ・フィラデルフィア管弦楽団員の附属音楽高校来校について 6
- ・アニメーション専攻設置記念式典の開催について 7
- ・「学長と語ろう トーク&コンサート」の開催について 8
- ・油絵具「油一/YUICHI」の全国販売開始について 9
- ・演奏会等の実施について 9
- ・藝大プロジェクト'08 メシアン生誕100年
レクチャー&コンサート第1回
- ・職員研修 10
- 人事
- ・人事異動 11

関係法令等 12

学内規則等

- ・東京芸術大学契約事務取扱要項の一部を改正する要項の制定について 13

諸会議

事務局

- ・国際交流室(5月1日) 15
- ・教育研究評議会(5月15日) 15
- ・役員会(5月15日) 15
- ・安全衛生委員会(5月21日) 15
- ・社会連携センター運営委員会(5月27日) 15
- ・教育推進室(5月28日) 15
- ・学生支援室全学学生支援部会(5月29日) 15
- ・国際交流室(5月29日) 15
- ・役員会(5月30日) 16

美術学部

- ・美術学部教務委員会(5月1日) v
- ・美術学部人事委員会(5月1日) 16
- ・美術学部運営委員会(5月1日) 16
- ・美術学部入試運営委員会(5月8日) 16
- ・大学院美術研究科委員会(5月8日) 16
- ・美術学部教授会(5月8日) 16
- ・美術学部学生生活委員会(5月9日) 17
- ・美術学部臨時運営委員会(5月14日) 17
- ・美術学部教職センター運営委員会
(5月15日) 17
- ・取手校地運営委員会(5月15日) 17
- ・美術学部学生生活委員会(5月21日) 17
- ・美術学部卒展運営委員会(5月22日) 17
- ・大学院美術研究科拡大運営委員会
(5月28日) 17
- ・大学院美術研究科運営委員会(5月29日) 17
- ・美術学部教務委員会(5月29日) 17
- ・美術学部人事委員会(5月29日) 17
- ・美術学部運営委員会(5月29日) 17

音楽学部

- ・音楽学部臨時教務委員会(5月8日) 18
- ・音楽学部芸術活動推進委員会(5月8日) 18
- ・音楽学部教授会・研究科委員会(5月8日) 18
- ・音楽学部学生生活委員会(5月15日) 18
- ・音楽学部国際対応委員会(5月16日) 18
- ・音楽学部運営会議(入試)(5月22日) 18
- ・音楽学部教務委員会・学位委員会
(5月22日) 19
- ・音楽学部芸術活動推進委員会(5月22日) 19

大学院映像研究科

- ・大学院映像研究科教授会(5月8日) 19

附属図書館

- ・附属図書館運営委員会(5月29日) 19

大学美術館	
・ 大学美術館運営委員会（5月15日）	20
演奏芸術センター	
・ 演奏芸術センター運営委員会（5月22日）	20
藝大アートプラザ	
・ 藝大アートプラザ企画推進室（5月21日）	20
大学日誌	21
訃報	21

諸 報

— 藝大素述座談会（「垣根のうちそと」—POST藝大はみえるか）の開催について —

5月9日（金）16時から美術学部石膏室を会場に、昨年度に出版した『藝大素述—美術学部の教育現場から—』の第2弾として、美術学部教員及びゲストパネリストによる学内公開座談会を開催した。美術学部の科の枠組みを越えて、今日の芸術や芸術教育について問題提起をしつつ、相互認識を図る場となるよう、様々な科を代表する教員が入れ替わり立ち替わり登場し、これまでの美術学部、今の美術学部、そしてこれからの美術学部について話し合った。



■開会宣言「なぜ座談会か」 六角鬼丈美術学部長

■セッション1「藝大の風土」

座長：手塚雄二

パネリスト：大西博、篠原行雄、日比野克彦、深井隆、松下計

■セッション2「POST藝大」

座長：尾登誠一

パネリスト：木戸修、野口昌夫、橋本明夫、保科豊巳、渡辺好明

■セッション3「藝大援述」

座長：六角鬼丈

パネリスト：池田政治、北郷悟

ゲストパネリスト：逢阪恵理子、酒井忠康、田中三蔵



— 「工藝考」展 見学ツアーの開催について —



5月9日（金）午後2時から、陳列館で開催中の「工藝考 ―素材へのまなざし―」展特別企画として、美術学部工芸科の工房を巡る見学ツアー『作品の制作現場を観てみよう』が実施された。

「工藝考」展は、平成19年度に工芸科の教育研究に携わった助教、非常勤講師、教育研究助手ら若手教員32名の作品を集め、工芸表現の今を見つめる展覧会。学生たちにとって最も身近な先輩であり指導者でもある出品者の「作家」「表現者」としての側面をクローズアップした

本展では、見学ツアーの他、作品の制作過程をスライド上映し、またそれぞれの工芸への取り組みを冊子にまとめて配布するなど、多彩な切り口で自分たちの活動を伝えようとしている。

見学ツアーは、上野校地で展開する6講座（彫金・鍛金・鋳金・漆芸・陶芸・染織）の各工房を巡り、制作現場の賑やかな音が響き、独特の匂いがただよう中、7名の見学者は教員から素材や技術の説明を受け、鍛造や蒔絵の実演を間近で見るなど、鋭い炎や土の熱気、繊細な技術に込められた歴史や神聖な場の空気を肌で感じつつ、興味深そうに参加していた。

— ハープ寄贈感謝状贈呈式の実施について —

東京音楽学校および東京芸術大学音楽学部で初代の専任ハープ教官を務めた阿部よしゑ氏が、第二次大戦中に留学先のパリから持ち帰ったエラール社製ハープが、阿部氏の最後の門下生で、音楽学部卒業生のハープピスト田中恭子氏より本学に寄贈され、5月15日（木）、感謝状贈呈式が行われた。

エラール社はフランスのピアノおよびハープのメーカーで、創業者のセバスチャン・エラールは、ルイ16世やマリー・アントワネットなど王室を顧客とした優れたハープシコード、ピアノ製作者であり、ダブルアクション・ペダルハープの発明（1811年）によってハープの演奏能力を飛躍的に高めたことで知られる。

寄贈されたハープは、1900年代初頭のもものと推定されており、映画「ビルマの堅琴」（1956年、市川崑監督）では、安井昌二演じる水島上等兵の奏でる堅琴が、阿部よしゑ氏の演奏によりこのハープで収録された。



— 外国人留学生懇談会の実施について —

5月15日（木）17時から、大学会館内食堂で「外国人留学生懇談会」が開催された。懇談会には、留学生約70名を迎え、宮田学長をはじめとする関係教職員、チューターの他、大学からの招待者として、奨学団体、取手市国際交流協会、新松戸7丁目町内会等約20名が出席した。この懇談会は、外国人留学生と大学関係者等が交流を通して相互理解を深めることを目的に、学長主催で毎年開催されているもので、この日、学長の挨拶を受けて、留学生を代表してマキシム・クリコフさん（音楽学専攻・博士後期課程1年・出身国ロシア）が謝辞を述べた。また、中国からの留学生を中心に、5月12日（月）に発生した中国四川大地震に対する義捐金の呼びかけが行われ、学長をはじめ招待者らから募金が寄せられた。懇談会は、くつろいだ雰囲気の中で新留学生紹介、ミニコンサート等が行われ日本語、母国語を織り交ぜながら盛会のうちに終了した。



— 日枝神社天井画制作の完了について —

約2年半にわたり実施してきた日枝神社（東京都港区）社殿の天井画123枚の制作（受託研究「日枝神社における古江戸、武蔵野の植物画（天上絵）の表現方法と創造」）が完了し、5月21日（水）、最後の天井画35枚の取り付けが行われた。

神社草創期（鎌倉中期から北条時代）の古江戸、武蔵野を彩っていた百花・草・木・鳥・虫が描かれた天井絵には、植物画の表現方法の歴史的な考察が生かされるとともに、現代的な表現や工夫も凝らされている。

制作を担当した美術学部日本画研究室の教員たちは、今回改めて古典資料を研究する機会を得て、本研究に参加できたことを喜びつつ、その成果を今後の自分たちの制作活動に生かしたいとしている。

また、監修にあたった宮田亮平学長は、関係者を招いた披露の場で、「日枝神社にはとても大きく素晴らしいキャンバスをいただきました。将来有望な作家たちの描いた天井画をとおして、日本の心、日本の美を後世まで伝えたい」と感謝を述べた。



— 第54回四芸術大学体育・文化交歓会の実施について —

スポーツ競技や展示会・演奏会を通して学生交流を深めることを目的とした「四芸術大学体育・文化交歓会」が、5月22日（木）から25日（日）の4日間、金沢美術工芸大学構内及び各競技施設で実施され、本学から今年も学生161名が参加した。

交歓会は、東京芸術大学、愛知県立芸術大学、金沢美術工芸大学、京都市立芸術大学の四芸術大学の学生主催により毎年実施されるもの。幹事校は輪番制で担当し、54回目となる今年は金沢美術工芸大学が幹事校となり開催された。

会場となった各競技場では、各大学チームが白熱した試合を繰り広げた。また、展覧会や演奏会等も行われ、相互交流と友好を深めた。体育交歓会の総合順位と各競技の試合結果は次のとおり。

総合順位：	総合優勝	東京芸術大学	26点
	2 位	愛知県立芸術大学	19点
	3 位	金沢美術工芸大学	18点
	3 位	京都市立芸術大学	18点

種目別順位：

競 技 種 目	東京芸大	愛知芸大	金沢美大	京都芸大
バレーボール	1 位	3 位	2 位	4 位
バスケットボール	4 位	1 位	3 位	2 位
バドミントン	1 位	2 位	4 位	3 位
硬式テニス	1 位	2 位	3 位	3 位
剣 道	1 位	2 位	3 位	4 位
準硬式野球	1 位	3 位	4 位	2 位
サッカー	2 位	4 位	1 位	3 位
ラグビー	3 位	4 位	2 位	1 位

— フィラデルフィア管弦楽団員の附属音楽高校来校について —

5月22日（木）、公演のため来日中のアメリカ・フィラデルフィア管弦楽団のメンバーが音楽学部附属音楽高校を訪れ、生徒たちと交流会を行った。

来校したのは、首席ティンパニ奏者のドン・リッツィー氏、首席ファゴット奏者のダニエル・マツカワ氏、第2ヴァイオリンのフィリップ・ケーツ氏の3名。ホールに集まった約120名の高校生を前に、生徒たちからの質問に答えるなどトークを交えながらそれぞれ演奏を披露した。



後半には、高校生が秋の定期演奏会に向けて練習中のチャイコフスキー「交響曲第5番」を演奏し、「全体のバランスを考えて常によく聴き、どのパートが主旋律かを意識しながら演奏するように」などとアドバイスを受けた。

「声に出して歌うことによってフレーズを掴むことも大切」といった話など、世界有数のオーケストラである同楽団メンバーの熱のこもった指導に生徒たちは真剣に耳を傾け、予定の時間をはるかに超える充実した交流会となった。

— アニメーション専攻設置記念式典の開催について —

5月30日（金）15時から、横浜校地万国橋校舎にて大学院映像研究科アニメーション専攻設置記念式典が開催された。

式典には本学並びに文部科学省、横浜市の関係者、招待者ら約90名が参加し、宮田亮平学長が、「昨年は東京芸術大学創立120周年を記念して大いに賑わった一年でしたが、祭りの後の静けさの中に、今年もアニメーション専攻設置という画期的で希望に満ちたニュースをお届けできることを嬉しく思います。アカデミックな環境の中に多様性を持った懐の深い大学として、これからも次の時代を担う若者を育てていきたい」と式辞を述べた。

また藤幡正樹研究科長は、「アニメーションの起源ともいえる絵巻物に多く見られるように、古くから日本には、複数の時間軸を一枚の絵の中に描く異時同図というユニークな時間の捉え方がありました。すでにアニメやマンガは海外で流通している日本語の一つです。われわれ自身がアニメやマンガをどのように理解しているか常に海外の研究者から問われている状況で、本学がアニメーション表現を芸術として研究することは、日本だけでなく世界的に必要とされている営為です」と設置の趣旨を説明し、「大学院映像研究科は映画、メディア映像、アニメーションの3専攻の設置という当初の構想を完成できましたが、今後も映像コンテンツ分野での人材育成に務め、産業界との接点を作ることを視野に入れた活動を展開していきたい」と抱負を語った。

アニメーション専攻の拠点となる万国橋校舎は、横浜港を臨む万国橋会議センター3階にあり、学生の作業室の他、立体アニメーション撮影システム、ポストプロダクション室、講義室などを備えている。式典後には施設見学会が行われ、4月に入学した学生たちがパーソナルデスクで制作している様子も披露された。

会場を馬車道校舎に移し、16時から開かれたレセプションでは、伊藤有壺、岡本美津子、山村浩二、出口丈人の4人の教授陣がそれぞれ挨拶に立ち、また、学生が制作したアニメーション専攻紹介VTRが放映された。さらに、映像ユニット「トーチカ」による光を使ったアニメーションが実演され、学生をはじめ会場に集った人々も自由に加わり、それぞれ空中にペンライトで描いた光の絵を連続再生してできる即興のアニメーションに興じた。

アニメーション表現領野の広がりを楽しみやすく示したパフォーマンスの賑わいとともに、レセプションは盛況裏に終了した。



— 「学長と語ろう トーク&コンサート」の開催について —

5月31日（土）、第3回「学長と語ろう トーク&コンサート」が、ゲストにJAXA宇宙飛行士の向井千秋氏を招いて開催された。約850名の参加者は、開演とともに打ち上がった奏楽堂という名のスペースシャトルに搭乗し、眼前に広がる宇宙空間の映像を見ながら、約2時間の宇宙旅行に酔いしれた。

宇宙から見た地球の映像が巨大スクリーンに映し出され、「いつもと視点が変わると、世界が大きく変わったような気がします。宇宙飛行という未知なる体験をされた向井さんのお話を聞きながら、私たちもその感動を共有したい」という宮田亮平学長の言葉で対談は始まった。



「宇宙では、天女のように舞った無重力空間や地球の青さなど楽しかった思い出がたくさんあります。ただ、一番強く印象に残っているのは、地上に降り立ったときに、重力があるということを実感できたことです。宇宙では、空間に水玉を浮かせたり、自由に天井や床を決められるなど、本当の意味での3次元的な自由が得られます。地上では「月が出る」「日が沈む」「滑る」「転ぶ」といった言葉がたくさんあるように、いかに私たちの考え方が重力に縛られているかよく分かりました」。向井氏がそう話すと、宮田亮平学長は「宇宙では、自由という言葉の概念もまた変わってくるかもしれません。それはまさしく私たちが芸術の世界で行っている表現と通ずるものでしょう」と応えた。

また、この日のために制作した「宙-Sora」という作品を前に、「イルカが円を描いて飛ぶことはありません。この作品は、宇宙から見た地球の姿、その輪郭を縁取る光の輪の美しさにイメージを膨らませて制作したものです」と話すと、向井氏は、「芸術家の感性が羨ましい。実際に宇宙に行かなくても自分の精神を重力から解き放って、違う視点から創造し、作品として表現できるのですから」と応えた。「私も宇宙での感動をもっと伝えたいのにうまく伝えられませんでした」と向井氏が話すと、宮田学長は客席に向かって、「そんなことはありません。1時間前の皆さんと、今の皆さんとは大きく違いますよね」と問いかけ、会場からは盛大な拍手が送られた。

休憩を挟んだ第2部コンサートでは、W. A. モーツァルト交響曲第41番《ジュピター》、G. ホルスト組曲《惑星》から〈木星（ジュピター）〉が音楽学部学生オーケストラによって演奏され、参加者を創造の宇宙空間へと誘った。

コンサート終了後、サプライズ企画として、向井氏がシャトル内でもロザさんだという《故郷》を奏楽堂に集ったすべての人々とともに合唱し、出演者や参加者は無事に上野の山に着陸した。



— 油絵具「油一/YUICHI」の全国販売開始について —

産学連携による研究成果を世に問う試みとして、昨年、本学が初めて商品化した油絵具「油一/YUICHI」が、5月から全国販売を開始した。

美術学部油画技法材料研究室とホルベイン工業株式会社との5年間にわたる共同研究の成果である「油一/YUICHI」は、理想的な油絵具の追求というコンセプトの独自性やその優れた品質などが高く評価され、2007年のグッドデザイン賞（コミュニケーションデザイン部門）を受賞するなど、発表以来、大きな反響を呼んできた。これまで藝大アートプラザでのみ販売されていたが、関心の広がりに応えるべく、全国販売に踏み切ることとなった。

また、「油一/YUICHI」の全国販売を記念して、水彩絵具「油一/本瑠璃」（限定200個）が特別販売された。

「油一/本瑠璃」は、新開発の製法によってラピス・ラズリ原石から高純度の青色顔料を抽出し、描きやすい一定の粒子の顔料のみを贅沢に使用した、「高彩度・美粒子」を特徴とする水彩絵具。白磁の容器は、200個すべてが豊福誠教授の手作りによるもので、意匠は松下計准教授が担当、プロデュース・顔料製造は大西博准教授が担当し、絵画科、工芸科、デザイン科による共同研究の成果として発表された。



— 演奏会等の実施について —

◆ 藝大プロジェクト'08 メシアン生誕100年 レクチャー&コンサート第1回

日	時	:	2008年5月24日(土)	15:00開演
会	場	:	東京芸術大学 奏楽堂	
入	場	料	:	2,000円(全席自由)
主	催	:	東京芸術大学演奏藝術センター 東京芸術大学音楽学部	
後	援	:	フランス大使館	
レ	ク	チ	ャ	ー
				講師:小鍛治邦隆
プ	ロ	グ	ラ	ム
				Pf:川崎 翔子
				幼子イエスに注ぐ20の眼差し より
				Pf:前田 健治
				アーメンの幻影
				Pf:長尾 洋史、菊地 裕介
当	日	の	観	客
			数	:
				264名(全座席数1,102席)

— 職員研修 —

- 1 研修名 : 平成20年度四大学及び情報・システム研究機構事務系初任職員研修
- 期 間 : 平成20年 5 月21日～平成20年 5 月23日
- 主 催 : 情報・システム研究機構
- 会 場 : 東京医科歯科大学
- 参加者 : 樋口 大輔、磯部 渚、山本 卓也

関係法令等

法令番号	事 項	官 報 登 録 年 月 日
文部科学省令 第16号	学校保健法施行規則の一部を改正する省令	平成20年 5 月12日 本紙第4825号

学内規則等

◎東京芸術大学契約事務取扱要項の一部を改正する要項の制定について

(改正理由)

契約情報の公表については、従来予定価格が500万円以上の随意契約のみを対象としていたが、公共調達の適正化を図る観点から競争入札についても公表することとしたことに伴い、所要の改正を行う。

(主な内容)

公表する契約を予定価格が500万円以上のすべての契約とし、その公表する事項及び様式を定めたこと。

(審議経過)

平成20年5月7日 事務協議会

(施行期日)

即日

○東京芸術大学契約事務取扱要項の一部を改正する要項 新旧対照表

新	旧
○東京芸術大学契約事務取扱要項 (略) (契約に係る情報の公表) 第13条 予定価格が500万円以上の支出の原因となる契約を締結したときは、締結日の翌日から起算して72日以内に本学のホームページに逐次公表するものとする。<u>ただし、各年度の4月1日から4月30日までの間に締結した契約については、93日以内に公表することができる。</u> 2 公表する事項は、次の各号に掲げるものとする。 (1) <u>公共工事(公共工事に係る調査及び設計業務等を含む。)</u>の名称、場所、期間及び種別又は物品等若しくは役務の名称及び数量 (2) 本学契約者の氏名、職名及び所在地 (3) 契約を締結した日 (4) 契約の相手方の<u>商号又は名称及び住所</u> (5) 一般競争入札又は指名競争入札の別及び総合評価方式によった場合にはその旨(随意契約を行った場合を除く。) (6) 契約金額 (7) <u>予定価格(公表しても、他の契約の予定価格を類推されるおそれがないと認められるもの又は本学の事務若しくは事業に支障を生じるおそれがないと認められるものに限る。)</u> (8) <u>落札率(契約金額を予定価格で除したものに</u>	○東京芸術大学契約事務取扱要項 (略) (随意契約の公表) 第13条 <u>随意契約のうち、</u>予定価格が500万円以上の支出の原因となる契約を締結した場合は、締結日の翌日から起算して72日以内に本学のホームページに逐次公表するものとする。 2 公表する事項は、次の各号に掲げるものとする。 (1) <u>契約に係る物品等又は役務の名称及び数量</u> (2) 本学契約者の氏名、職名及び所在地 (3) 契約を締結した日 (4) 契約の相手方の<u>氏名</u>及び住所 (5) <u>契約に係る金額</u>

百を乗じて得た率。予定価格を公表しない場合を除く。)

(9) 随意契約によることとした契約規則の根拠条文及び理由 (理由は、具体的かつ詳細に記載すること。)並びに企画競争又は公募手続きを行った場合にはその旨

(10) その他必要な事項

3 公表の様式は、第14条第1項第17号とする。

4 公表の期間は、契約を締結した日の翌日から起算して1年が経過するまでとする。

(契約同等の様式)

第14条 契約同等の様式は、次のとおりとする。

(1) 契約伺 別紙様式第1号1～5

：

：

(17) 契約に係る情報の公表 " 第17号1～4

(18) 競争加入者心得 別紙

(略)

附 則

この要項は、平成20年5月7日から施行する。

(6) 随意契約によることとした理由

(7) その他必要な事項

3 公表の様式は、第14条第1項第17号とする。

4 公表の期間は、契約を締結した日の翌日から起算して1年が経過するまでとする。

(契約同等の様式)

第14条 契約同等の様式は、次のとおりとする。

(1) 契約伺 別紙様式第1号1～5

：

：

(17) 随意契約締結一覧 " 第17号1～2

(18) 競争加入者心得 別紙

(略)

諸 会 議

— 事 務 局 —

◎国際交流室

平成20年5月1日（木）

〔議 題〕

1. アジア藝術宣言プロジェクトについて
2. 「芸術国際交流に関する大学間協定等について（方針）」の見直しについて

〔報告及び連絡事項〕

1. 平成20年年度計画について
2. 平成19年度国際交流実績調査について

◎教育研究評議会

平成20年5月15日（木）

〔議 題〕

1. 名誉教授の称号授与について
2. 平成20年度教員人事計画書（変更）について
3. 平成21年度教員人事計画書について
4. 代表権のある職務の兼業許可について
5. 平成21年度支出概算要求事項について

〔報告及び連絡事項〕

1. 平成20年度科学研究費補助金の採択結果について
2. 平成20年度67歳を超える非常勤講師の委嘱について
3. 五芸大学長懇話会協議課題について
4. 東京芸術大学先進学際領域研究・連携本部について
5. 海外渡航について

◎役員会

平成20年5月15日（木）

〔議 題〕

1. 代表権のある職務の兼業許可について

〔理事室等活動報告〕

1. 理事（教育担当）
2. 理事（研究担当）
3. 理事（総務担当）
4. 理事（学長特命担当）
5. 学長特命（記念事業担当）
6. 学長特命（国際交流担当）

〔報告及び連絡事項〕

1. 教育研究評議会について
2. 平成20年度科学研究費補助金の採択結果について
3. 五芸大学長懇話会協議課題について
4. 東京芸術大学先進学際領域研究・連携本部について

◎安全衛生委員会

平成20年5月21日（水）

〔議 題〕

1. 喫煙場所について

〔報告事項〕

1. 巡視報告について
2. 各校地報告

◎社会連携センター運営委員会

平成20年5月27日（火）

〔議 題〕

1. 「藝大アーツ イン 丸の内」について

◎教育推進室

平成20年5月28日（水）

〔議 題〕

1. 教育推進室構成員名簿について
2. 入学試験合格者のweb発表について
3. 外国人留学生の定員扱いについて
4. 平成20年度学長裁量経費について
5. 中期目標の達成状況報告書（素案）について
6. 五芸大学長懇話会の協議事項について

◎学生支援室全学学生支援部会

平成20年5月29日（木）

〔議 題〕

1. 学生支援室全学学生支援部会名簿について
2. 保健管理センター運営委員会委員の選出について
3. 中期目標の達成状況報告書（素案）について
4. 入学料免除者及び徴収猶予者の選考（案）について
5. 後期分授業料免除・徴収猶予受付期間（案）について
6. 五芸大学長懇話会の協議事項について

◎国際交流室

平成20年5月29日（木）

〔議 題〕

1. アジア藝術宣言プロジェクトについて
2. 芸術国際交流協定書の見直しについて

〔報告及び連絡事項〕

1. 平成20年度学長裁量経費について

◎役員会

平成20年5月30日（金）

〔理事室等活動報告〕

1. 理事（教育担当）
2. 理事（研究担当）
3. 理事（総務担当）
4. 理事（学長特命担当）
5. 学長特命（記念事業担当）
6. 学長特命（国際交流担当）

〔報告及び連絡事項〕

1. 代表権のある職の兼業許可について
2. 五芸術大学長懇話会について
3. 第54回四芸術大学体育・文化交歓会（金沢大会）の終了について

— 美術学部 —

◎美術学部教務委員会

平成20年5月1日（木）

〔議題〕

1. 学生の身分異動について
2. 平成20年度リサーチ・アシスタントの採用について
3. 平成20年度ティーチング・アシスタントの採用について
4. 学生の旧姓使用について
5. 平成20年度学部入学者の単位認定について
6. 平成20年度「東京芸術大学学生によるギャラリートーク」の募集について
7. 平成20年度前期の修学援助者の推薦について
8. 講義室等の予約について
9. 各科のFDについて
10. 各科のアドミッションポリシーについて
11. 平成21年度非常勤講師採用計画について

◎美術学部人事委員会

平成20年5月1日（木）

〔議題〕

1. 東京芸術大学名誉教授の称号授与について
2. 教員人事について
3. 教員の人事計画について

◎美術学部運営委員会

平成20年5月1日（木）

〔議題〕

1. 東京都美術館改修後の借用について

◎美術学部入試運営委員会

平成20年5月8日（木）

〔議題〕

1. 平成20年度入学者選抜試験「個人成績開示」の各科内容確認について
2. 平成20年度入学者選抜試験「各科入試問題」の外部公表内容確認について
3. 印刷物の発行について

◎大学院美術研究科委員会

平成20年5月8日（木）

〔協議事項〕

1. 学生の身分異動について
2. 論文審査の審査委員について

◎美術学部教授会

平成20年5月8日（木）

〔協議事項〕

1. 東京芸術大学名誉教授の称号授与について
2. 教員の人事計画について
3. 学生の身分異動について
4. 平成20年度学部入学者の単位認定について

〔報告事項〕

1. 理事報告
2. 各種委員会等報告
 - ◆ 学生支援室全学学生支援部会（4月21日）
 - ◆ 返還免除奨学生選考委員会（4月23日）
 - ◆ 藝大アートプラザ企画推進室会議（4月22日）
 - 取手校地運営委員会（4月24日）
 - ◆ 企画・評価室会議（4月30日）
 - 卒展運営委員会（4月24日）
 - 点検・評価委員会（5月7日）
 - ◆ 国際交流室会議（5月1日）
 - ◆ 教育推進室会議（4月23日）
 - 教務委員会（5月1日）
 - ◆ 人事・総務部会（5月7日）
 - ◆ 教育研究評議会（4月24日）
 - 人事委員会（5月1日）
 - 運営委員会（5月1日）
 - 入学試験運営委員会（5月8日）
3. 教員の海外渡航について
4. 平成20年度科学研究費補助金の交付内定一覧

〔連絡事項〕

1. 展覧会のご案内

2. 藝大素述座談会「垣根のうちそとーPOST藝大はみえるか」の開催について
3. 紀要及び論叢の原稿募集について

◎美術学部学生生活委員会

平成20年5月9日（金）

〔議題〕

1. 平成20年度私費外国人留学生学生奨励給付金受給者の推薦について
2. 日本学生支援機構奨学金（短期留学）奨学生の推薦について
3. 学内奨学金について

◎美術学部臨時運営委員会

平成20年5月14日（水）

〔議題〕

1. 学部入試の前期日程への移行に伴う卒展等の日程について

◎美術学部教職センター運営委員会

平成20年5月15日（木）

〔議題〕

1. 平成19年度教育実習会計報告について
2. 平成20年度教育実習について
3. 平成20年度介護等体験について
4. 平成20年度教育実習研究協議会及び懇談会について
5. 教員の実習校訪問について

◎取手校地運営委員会

平成20年5月15日（木）

〔議題〕

1. 取手校地の今後について
2. 日本画材料実験園作業用物置について
3. ゴミの分別に伴う集積場の拡張について

◎美術学部学生生活委員会

平成20年5月21日（水）

〔議題〕

1. 平成20年度 入学科免除・猶予申請者について
2. 日本学生支援機構奨学金（短期留学）奨学生の推薦について
3. 学内奨学金について
4. 特別講演の実施について

◎美術学部卒展運営委員会

平成20年5月22日（木）

〔議題〕

1. 平成20年度卒展運営委員長の交代について
2. 平成20年度検討事項について
3. 平成20年度共用スペースの使用希望について

4. 平成21年度卒展日程について

◎大学院美術研究科拡大運営委員会

平成20年5月28日（水）

〔議題〕

1. 平成20年度課程博士本申請の受理と審査委員候補者の承認について
2. 継続審査学生の外部副査の追加について
3. 平成20年度課程博士予備申請結果について
4. 平成20年度課程博士予備申請・本申請取り下げ者について
5. 博士展について

◎大学院美術研究科運営委員会

平成20年5月29日（木）

〔議題〕

1. 博士論文申請について

◎美術学部教務委員会

平成20年5月29日（木）

〔議題〕

1. 学生の身分異動について
2. 平成20年度集中講義日程表について
3. 平成20年度67歳を超える非常勤講師の採用について
4. 平成20年度集中講義非常勤講師新規採用について
5. 招聘教授による授業の代理講師枠について
6. 講義室等の予約について
7. 平成20年度「東京芸術大学学生ボランティアによる制作工程模型作成・ギャラリートーク」の募集について
8. 教育推進室委員の教務委員からの補充について
9. 平成21年度非常勤講師採用計画について

◎美術学部人事委員会

平成20年5月29日（木）

〔議題〕

1. 教員人事について
2. 教員公募要項(案)・選考会議委員について
3. 教員の人事計画(案)の変更について
4. 客員研究員の受入について

◎美術学部運営委員会

平成20年5月29日（木）

〔議題〕

1. 学部入試の前期日程への移行に伴う卒展等の日程について
2. 美術学部奨学生選考内規等について
3. 中期目標期間の評価への対応について
4. 総合工房棟への車の乗り入れについて
5. 古美術研究施設の非常勤講師について

6. 奨学寄附金の受入について

— 音楽学部 —

◎音楽学部臨時教務委員会

平成20年5月8日（木）

〔審議事項〕

1. 修学延長等について
2. 学生の身分異動について
3. 平成20年度音楽学部特別講座の実施について

◎音楽学部芸術活動推進委員会

平成20年5月8日（木）

〔議題〕

1. 指導依頼及び後援名義の使用許可について
2. 指導依頼
3. 演奏依頼
4. 藝大主催演奏会の演奏録音物に関する取り扱いについて

〔報告及び連絡事項〕

1. 各科・学生オーケストラ運営委員会・チェンバールオーケストラ運営委員会・管弦楽研究部・オペラ研究部、音研センター・演奏芸術センター報告

〔演奏会終了報告〕

1. 第2回みどりの式典における奏楽（弦楽四重奏・藝大フィル）
2. 奏楽堂演奏会

◎音楽学部教授会・研究科委員会

平成20年5月8日（木）

〔議題〕

1. 名誉教授の推薦について
2. 受託研究の受け入れ・変更について
3. 外国人客員研究員の受け入れについて

〔報告〕

- 理事
- 学部長
 1. 運営会議（運営・人事）（4月24日）
 2. 管理運営室人事・総務部会（5月7日）
- 評議員
 1. 教育研究評議会（4月24日）
- 各種委員会
 1. 運営会議（入試）（4月24日）
 2. 教務委員会・学位委員会（4月24日）
 3. 芸術活動推進委員会（4月24日、5月8日）
 4. 施設整備安全衛生委員会（4月24日）

5. 教育担当理事所掌室会議

6. 総務担当理事所掌室会議

7. 学長特命所掌室会議

8. 藝大アートプラザ企画推進室会議（4月22日）

- 大学院音楽研究科リサーチセンター
- 附属音楽高等学校長
- 言語・音声トレーニングセンター長
- 演奏芸術センター長

〔報告及び連絡事項〕

1. 演奏会
2. 会議日程の変更について

◎音楽学部学生生活委員会

平成20年5月15日（木）

〔議題〕

1. 平成20年度入学料免除・徴収猶予申請者の推薦について
2. 平成20年度私費外国人留学生学習奨励費給付制度受給者の推薦について
3. 平成20年度財団法人野村学芸財団奨学生の推薦について

◎音楽学部国際対応委員会

平成20年5月16日（金）

〔議題〕

1. アジア芸術宣言プロジェクトについて
2. 韓国中央大学校との交流協定について
3. モスクワ音楽院との交流協定について
4. 韓国芸術総合学校との学生交流について

〔報告及び連絡事項〕

1. 平成19年度国際交流実績調査について

◎音楽学部運営会議（入試）

平成20年5月22日（木）

〔審議事項〕

1. 平成21年度「大学院（修士課程）試験内容及び課題曲」決定について
2. 平成21年度「大学院（修士課程）学生募集要項」決定について
3. 平成21年度「大学院（博士課程）学生募集要項」決定について
4. 平成21年度「入学者選抜要項」決定について
5. 平成21年度入学試験日程等の決定について

〔依頼事項〕

1. 平成21年度学部入試における副科実技（Pf・Vn等）入試課題曲及び「聴音」「楽典」「新曲視唱」「和声」「音符の音読」「リズム課題」「ピアノ新曲」試験内容について

- 平成21年度大学院（修士課程）入学者選抜試験採点方法等について

〔その他〕

- 入学者選抜試験において、教員の二親等以内の親族が受験する場合の当該教員に対する措置について
- 学科説明会について

◎音楽学部教務委員会・学位委員会

平成20年5月22日（木）

＜教務委員会＞

〔審議事項〕

- 音楽学部特別講座の実施について
- 平成20年度卒業試験公開演奏会日程（案）について
- 平成20年度学内演奏会日程（案）について
- 平成20年度前期実技試験日程（案）について
- 早期卒業の特例について
- 5号館改修に伴う代替教室について

〔報告事項〕

- 楽器体験講座履修者の決定について
- TOEIC IPテストの実施について

＜学位委員会＞

〔審議事項〕

- 課程博士学位審査（事前予備審査）について
- 課程博士学位論文等審査会の設置について
- 単位互換制度による特別聴講学生の派遣について

〔依頼事項〕

- 平成19年度末提出者に係る課程博士学位論文等審査会の構成について

◎音楽学部芸術活動推進委員会

平成20年5月22日（木）

〔議題〕

- 平成20年度取手市立小中学校と東京芸術大学との交流について
- 演奏依頼
- 藝大主催演奏会の演奏録音物に関する取り扱いについて

〔報告及び連絡事項〕

- 各科・学生オーケストラ運営委員会・チェンバールオーケストラ運営委員会・管弦楽研究部・オペラ研究部、音研センター・演奏芸術センター報告

〔演奏会終了報告〕

- 学生会館開館80周年記念コンサート（ソプラノ、

室内楽/藝大フィル、作曲/編曲)

- 平成20年度春の叙勲伝達式における奏楽（山田流箏曲）
- 期待の音大生によるアフタヌーンコンサート（能・宝生流）
- 平成20年度春の褒章伝達式における奏楽（弦楽四重奏・藝大フィル）
- 奏楽堂演奏会

— 大学院映像研究科 —

◎大学院映像研究科教授会

平成20年5月8日（木）

〔議題〕

- 平成20年度入学料免除及び徴収猶予候補者の選考・推薦について
- 平成21年度入試について
- 平成19年事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間（平成16～19事業年度）に係る業務の実績に関する報告書について
- 67歳を超える非常勤講師の委嘱について
- 附属図書館運営委員会委員の選出について
- 芸術情報センター運営委員会委員の選出について

〔報告及び連絡事項〕

- 役員会、教育研究評議会議題・報告事項
- 教育研究助手（教育研究等非常勤職員）の採用について
- 平成20年度入試について
- 平成20年度外国人留学生懇談会の開催について
- 東京芸術大学映像研究科アニメーション専攻設置記念式典及び祝賀会について
- 平成20年度教員総覧ページの定期更新について
- 海上自衛隊横須賀地方総監による洋上懇談会の実施について
- ヨコハマEIZONE2008の開催について
- 横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」について
- 山村浩二教授「シュトゥットガルト国際トリックフィルム映画祭」グランプリ受賞について

— 附属図書館 —

◎附属図書館運営委員会

平成20年5月29日（木）

〔議題〕

- 平成20年度図書館資料展について

2. 寄贈資料について

〔報告及び連絡事項〕

1. 長期延滞者等状況について
2. 平成19事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
3. 平成20年度科学研究費補助金の交付内定について
4. 平成19年度決算報告について
5. 平成20年度学内予算の配分について
6. 学長裁量経費の要求について
7. 平成19年度附属図書館統計資料について
8. 展覧会資料の貸出について

— 大学美術館 —

◎大学美術館運営委員会

平成20年5月15日（木）

〔議題〕

1. 大学美術館所蔵重要文化財の貸出について

〔報告及び連絡事項〕

1. 大学美術館展覧会事業報告について
2. 平成20年度学長裁量経費について
3. 「芸大コレクション展」入館者数
4. 「バウハウス・デッサウ展」入館者数
5. 「21世紀のアートオフィス展」〔陳列館〕入館者数

— 演奏芸術センター —

◎演奏芸術センター運営委員会

平成20年5月22日（木）

〔議題〕

1. 協賛金の受入れについて
2. 平成21年度芸大プロジェクトについて

— 藝大アートプラザ —

◎藝大アートプラザ企画推進室

平成20年5月21日（水）

〔議題〕

1. 藝大アートプラザ大賞に係る募集及び入賞作品展について
2. 企画提案について

〔報告及び連絡事項〕

1. 藝大アートプラザ運営業務報告

大学日誌

自 平成20年5月1日 ～ 至 平成20年5月31日

月 日	曜	行 事
5. 1	木	国際交流室、(美)教務委員会、(美)人事委員会、(美)運営委員会
8	木	(美)入試運営委員会、大学院美術研究科委員会、(美)教授会、(音)臨時教務委員会、(音)芸術活動推進委員会、(音)教授会・研究科委員会、(映)教授会
9	金	藝大素述座談会(「垣根のうちと」-POST藝大はみえるか)、「工藝考」展見学ツアー、(美)学生生活委員会
14	水	(美)臨時運営委員会
15	木	ハープ寄贈感謝状贈呈式、外国人留学生懇談会、教育研究評議会、役員会、(美)教職センター運営委員会、取手校地運営委員会、(音)学生生活委員会、大学美術館運営委員会
16	金	(音)国際対応委員会
21	水	日枝神社天井画最終取り付け、安全衛生委員会、(美)学生生活委員会、藝大アートプラザ企画推進室
22	木	四芸術大学体育・文化交歓会(～5/25)、フィラデルフィア管弦楽団員来校、(美)卒展運営委員会、(音)運営会議(入試)、(音)教務委員会・学位委員会、(音)芸術活動推進委員会、演奏芸術センター運営委員会
24	土	藝大プロジェクト'08 メシアン生誕100年 レクチャー&コンサート第1回
27	火	社会連携センター運営委員会
28	水	教育推進室、大学院美術研究科拡大運営委員会
29	木	学生支援室全学学生支援部会、国際交流室、大学院美術研究科運営委員会、(美)教務委員会、(美)人事委員会、(美)運営委員会、附属図書館運営委員会
30	金	アニメーション専攻設置記念式典、役員会
31	土	「学長と語ろう トーク&コンサート」

訃 報

羽生出氏(元美術学部 教授)は、平成20年5月6日、逝去されました。
ここに故人の御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。